

事業所名 からしだね

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日 2025年2月6日

事業所理念		人は皆等しく、神様に創造され、愛されている存在であり、一人ひとりがそれぞれの使命を与えられ、生かされています。ですから、互いに与えられているものを用い合い、補いあって成長し、豊かな人生を歩めるようにチームで支えます。		
支援方針		ご利用者の意志および人格を尊重して、常にご利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。また、ご利用者がもっている能力に応じた、自立した生活ができるように支援致します。		
営業時間		授業終了後14:00～18:00 学校休業日9:00～18:00	送迎実施の有無	有
		支援内容		
本人支援	健康・生活	心と体が健康な状態であるか、小さな変化に気づけるようにきめ細やかな観察を常に行う。また、障害の特性上伝えにくい子に対しては特に気をつける。基本的な生活習慣のスキルを身につけ、健康維持のための生活リズムが身につくように支援をする。子どもが安心してリラックスできるスペースの確保や環境作りをする。必要に応じて歯科と連携して摂食指導を進めていく。		
	運動・感覚	姿勢保持や必要な補助用具、椅子などを適切に使用し、体の機能の維持・向上を図る。保護者やリハビリ見学などを通して医療機関から情報を得たり、職員が研修を重ねて技術の向上を図り、姿勢保持、関節の変形予防、筋力の維持・強化のために必要なストレッチなどの支援を継続して行う。		
	認知・行動	一人ひとりの認知の特性を把握し、気持ちや思いや欲求をその子らしく表出し伝えられる方法を考え実践できるように導いていく。また、子どもが表出したものを察知し温かい受容・応答の姿勢を職員が常に持てるようにする。偏った認知によって生じる不適切な行動に対して予防及び適切な行動への変換の作業を地道に行っていく。		
	言語・コミュニケーション	伝えようとしていることをできるだけ言語化して語彙力を高める。話してくれる内容に耳を傾け確認しながら整理し、わかりやすく伝えられるように話を組み立てる作業を一緒に行い、人に話を聞いてもらうことの楽しさや満足感を得られるように支援する。言葉だけでなく身振りや表情だけでもその子らしい方法で伝えることの楽しさを実感できるような支援をする。		
	人間関係・社会性	マンツーマンの支援を基本とし、職員と子どもの信頼関係の構築に努める。子どもが安心して自分の思いや考えを伝えられるように、日頃からその子に合ったやり取りを重ねていく。ルールを理解して遊びや集団活動に参加できるようなプログラムを提供する。社会体験の機会を増やす。役割分担やお手伝いをする場を設定し社会参加に対する充実感を得られるよう支援する。		
家族支援		送迎時の保護者との対話を大切に。面談希望への柔軟な対応をする。兄弟、卒業生が遊びに来られる場を提供する。オープンハウスなど保護者同士の交流の場を提供する。急な利用希望・変更、送迎へ柔軟に対応する。	移行支援	就学、進学、就労に向けての支援目標や支援内容を設定しQOLの充実を図れるように支援する。次のステージに進むための情報収集を行い本人や保護者に提供していく。
地域支援・地域連携		マナ愛児園、森の学園、喜楽希楽サービスと交流をする。リハビリ見学をして医療機関との連携を図る。	職員の質の向上	月1回の職員ミーティングの中で継続的な学び及びご利用者への支援について見直しや検討を行う。内部・外部研修へ参加して常にスキルアップを図る。
主な行事等		社会体験を積んでいくためのおでかけや買い物、おやつや昼食作りの調理体験。子どもたちによる夏祭りやオープンハウスの企画・実施。		